

第9回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
ただよいさん	大阪府	<p>第1回の神戸マラソンが僕の初めてのフルマラソンへの挑戦でした。でも、あの時は1人で参加して、1人で走り、1人でフィニッシュ！痛い足を引きずり1人で帰りました。あれから9年、スタート前にみんなで集合、ずれ違いで仲間にもエールを貰う。僕のフィニッシュを待ってくれる人がいる。そして、お互いの完走を讃えあえる。痛い足も癒えます。僕にとってどれもとても大切に素敵な瞬間です。仲間が折れそうなるを何度も支えてくれました。</p> <p>これは今はこのマラソンを走ってもそうず、絶対に誰かに会えます。SNSの普及も大きな要因ですが、僕にとってこの喜びのきっかけを与えてくれたのはこの神戸マラソンでした。</p> <p>あの時思い切つてフルにチャレンジしなければ今の大切な仲間に出会えてないでしょうね</p> <p>今年も大好きな神戸の街を走る喜びを大好きな仲間とわかちあいたいです。</p> <p>マラソンをして本当に良かった。</p>
前野 充男	京都府	<p>私は、昨年6月に2度目の心臓手術を受け、大動脈弁は機械弁になりました。10時間の大手術で、もう走れなくなるかも、と思いましたが、自身のQOL向上と、同じ病気に苦しむ患者さんの励みになればと思い、フルマラソン完走を目標にし、結果、術後8ヶ月目の今年2月にフルマラソンをサウズで完走できました！無理だと思っていたフル完走をやり遂げられたのは、ラン仲間のサポートがあってこそです。走れない時でも練習会に声をかけてくれた仲間、体に負担のかからないレーニング方法を互いに学んだ仲間、大事な練習時間を私のリハビリ練習に使ってくれた仲間、フルマラソン大会で沿道を並走して勇気をくれた仲間。本当に感謝しています。マラソンは、チームプレーだから実感しました。昨年の神戸マラソンは、まだリハビリ中だったので、「来年は走る！」という思いを胸に秘め、沿道で応援に徹しました。第9回大会には、私のラン仲間も10名以上参戦します。昨年の今頃は、まさかこんな日が来るとは思いませんでした。私が病院に伏している時から、走れるようになるまでずっと支えてくれた仲間と共に、神戸の街を駆け抜けることが楽しみに待ち遠しい限りです。</p>
むうちゃん	大阪	<p>2013年、初神戸マラソンにエントリーさせていただきました。</p> <p>これまで10kmには多数エントリーしていましたが、フルは初めてで自信がない中、当たった喜びをランにかけました！</p> <p>しかし、阪神高速のアップダウン連続は結構、ハードでした。</p> <p>何回もめげでは、走りめげでは走りを繰り返していた29km地点の沿道で見た一般の方の段ボールにかかれたメッセージ！</p> <p>「走られることは幸せなことやで。」</p> <p>目からうるこでした！</p> <p>その当時、赤くのが大好きでとても元気だった母が入院していたのです。確かに、走ることができるのは幸せなことです。足が痛い、膝が痛いという話もよく聞きます。今の自分は、幸いどこも痛くなく健康である。</p> <p>本当にあのメッセージから、さまざまなことが甦りました。</p> <p>その日から、走りながらときどき思い出しています。</p> <p>どこのだれかわからないですが、感謝します。</p> <p>ありがとうございました！</p>
カリメロ	奈良県	<p>今回、初めて当選し、初めて神戸マラソン参加させて頂きました。</p> <p>5年程前から運動不足解消のために始めたマラソン。最初はジムで走る程度から、大会に参加するようになり、ただただ自分の為に走っていたマラソンでした。特にフルマラソンの際に、終盤、足ポロポロでシンドイ際に、沿道から頂く笑顔と声援、同じようにシンドイはずのランナーの方から頂く笑顔と一緒に頑張ろうの言葉で何度生き返ったか分かりません。</p> <p>自分がしんどい時でも、相手の事を考える人としての強さや優しさをマラソンを通じて学びました。</p> <p>世界をとか大それた事はおがましくて言えないですが、自分と関わる人だけでも笑顔に出来たら、皆んながそう思えたら、それが点から線になり輪になる。</p> <p>そんな思いで走ります。</p> <p>そして、悲願のサブ4を今回は必ず達成すべく、当日まで努力のみです。</p> <p>当日は皆んなが笑って真剣に走れるよう願います。</p>
みほりん	兵庫県	<p>【感謝と友情】学生の頃陸上部だった私ですが、練習をいかにサボるかを考えていた毎日でした。そんな私が今マラソンを走り出し7年になります。フルマラソンの出走権を得た事がきっかけで今も少しずつでも走っています。同じ志のお友達の存在は大きく、苦しみも喜びも共有できる事は人生において宝物だと思います。神戸マラソンが13回目のフルマラソン挑戦となり神戸で生まれ育った私にはどの道も懐かしい思いがあり走れる事に感謝の気持ちでいっぱいです。完走目指して頑張りたいです。</p>
井上 麻由子	兵庫県	<p>母と神戸に感謝。</p> <p>3年ぶりの神戸マラソン当選で今年も母に私の元気な姿を見てもらえると思っていましたが、その母はつい先日亡くなりました。</p> <p>鷹取駅前が実家から近く、私が走る時はいつも駅前で応援してくれました。元気な頃は電車に乗って舞子まで来てくれたこともあります。</p> <p>去年は落選したので私も一緒に駅前で友人やランナーの方々の方々の応援をしました。その時も母は闘病中でしたが、なんとか車椅子で応援していました。</p> <p>私は1年半前まで東京在住でしたが、難病を発症した母の介護のため神戸に戻ってきました。</p> <p>神戸に戻ってきて初めての神戸マラソン当選。私の走っている姿を見せることで母が少しでも、その瞬間だけでも元気にしてくれたらなあと思っていただけにとても残念です。</p> <p>今年は鷹取駅前、明石海峡大橋や高松線、、、母が応援してくれたことのある場所を駆け抜ける時、思い出が蘇って悲しい気持ちになっしまわぬだろうか、、、そんなことを考えてしまいます。</p> <p>母が生まれて死ぬまで過ごした神戸。いつも母を包み込んでくれた場所。そんな神戸にも感謝しながら走りたいと思います。</p>
ココちゃん	大阪府	<p>昨年念願叶って初出場し、今回2回目の神戸マラソンです。</p> <p>昨年は自分にとって久しぶりのフルマラソンだったこと、練習不足だったことが重なり、25kmあたりから何足も足が撃ってしまいました。「もうダメかも…」と思っは救護所でマッサージを受け、途中にはランナードクターに芍薬甘草湯を頂いて、なんとかゴールまでたどり着くことができました。いつもマラソンの時は沿道の応援がとても力になっていますが、昨年の神戸マラソンほど力になった声援は今まで初めてでした。ポランディアの方々、あの時のランナードクターさんには感謝の気持ちでいっぱいです！</p> <p>今年はせっかくまた神戸の街を走れるチャンスをもたらえたので、街の景色や海沿いの景色を楽しみながら、ランナーさんと沿道の方と一緒に大会を楽しみたいと思っています♪そのためにも、今はしっかり練習して当日を迎えたいと思います！</p>
阪本 和弘	兵庫県	<p>実母が今年8月23日に永眠しました。神戸市立西市民病院に今年5月下旬から大腸癌で入院し、自宅に帰る事がほぼ不可能でした。7月には大腸癌から転移した肺手術を、8月には人工肛門の手術を行い、退院出来る希望が見えた頃、突然容態が悪化し、この世を去りました。神戸マラソンのコースでもある病院前から、産んでくれた母親への感謝の気持ちと父親として頑張っている姿を目に焼き付けてもらう事を目指していましたが、叶いませんでした。母親が入院してから、自宅と病院の往復での歩きが練習できません。落ち着いてから、神戸マラソンに向け練習をし、天国から母親に息子として頑張っている姿を見てほしいです。</p>
ちえちゃん	兵庫県	<p>第1回神戸マラソンのクォーターに当選したのがきっかけで走り始め、毎年レースに出ながら少しずつ自己ベスト更新を続けていた矢先、突然両膝が腫れて曲がらなくなってしまい、その後2年、走ることが出来ませんでした。膝の具合もよくなり、「走る」事を諦めるしかありませんでした。でも、走れなくてもランニングチームの仲間は、私をいつも受け入れてくれました。傘を杖代わりにチームの忘年会に行ったこともありました。走れなくても仲間として変わらず接してくれた事を今でも感謝しています。また、いつか、絶対に皆と走りたい！その思いが強くなり少しずつトレーニングを始める気持ちができてきた頃、神戸マラソンに当選しました。神戸マラソンでは、チームの応援ポイントがあります。そこまで頑張ろう！皆が待っている場所を目指して走ります。以前のように走ることは、まだできません。完走できるかも難しいと思いますが、チームの仲間が待っていてくれる場所まで、笑顔で皆に感謝しながら精一杯走りたいです。</p>
はつかり1便おそら	兵庫県	<p>私は第1回から参加しています。と言いつても、実は審判員としてです。第1回は5km過ぎに、第2回大会から前回迄は派手バイパスの坂の途中にそれぞれ立ってランナーの方々の様子を見ていました。ランナーの方々を励まし、時にはフィニッシュ迄あと〇kmと言っていました。更にはランナーの異変もキヤッチし、審判員として厳正に且つ温かく見守っていました。過去の8回は審判員としての目線から大会を見ていましたが、今回はランナーの視点で大会の様子を見てみようと思い、出場を決意しました。普段は練習で時折走っているコースの特徴は理解していますが、実際にはどうなるか、楽しみたいです。</p>
河内 博之	兵庫県	<p>2019年1月27日、この世の人生にギリオドを打った父への感謝</p> <p>父は、野球を愛している子供たちが大好きで私を小学校1年から少年野球に入部させ、その後は25年以上に渡り指導者を続け、その功績により川西市民賞『りんどう賞』を受賞。受賞時の喜んでいた顔が今でも忘れる事が出来ず、支えて頂いた皆様に感謝の言葉を伝えておりました。そんな父を誇りに、天国で見守っている父の為に感謝し完走を目指す！</p>

第9回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
森下 彌郷	兵庫県	<p>キリマンジャロ登頂は一昨年のこと。頂上では涙があふれ、写真を撮るのも泣き笑い。思い起こせば4年前、埼玉県の親友から突然メール。大腸がん、ステージ3B、余命〇年、来週手術と。手術前日に見舞いに行くと彼の家族が皆集まっており、奥様は涙ながらに私を迎えてくれた。そこで彼がアフリカでサファリを観るのが夢だと言い、私はそれでは回復したらキリマンジャロに登頂してサファリを楽しもうと語り、彼は生きる望みが湧いてきた絶対に行こうと返してきた。手術は無事成功し二人で約束した通りキリマンジャロへ挑戦し成功、サファリを楽しむことができた。</p> <p>彼は新入社員時代に青梅マラソンに出場し完走。マラソンブームの先駆者、1980年のこと。40年の時を経て二人は定年・退職し孫もいる年齢66歳。マラソンが人生に例えられることがある。何かを思い、そのことを皆が応援してくれたおかげで達成することができる。40年前のマラソンは僕たちに教えてくれた。神戸マラソンで生きることの楽しさを多くの友人や家族、子供、孫達に伝えようと思う。多くの人々が寄り添ってくれることを感じながら走れる。みんなの応援が私を押し上げてくれる。</p>
黒川 務	兵庫県	<p>3年前の第6回神戸マラソンが私の初マラソンでした。当時は、自分1人で頑張れば何かならんとおぼろげに思っており周囲のボランティアの方や応援の方に正直感謝はしていませんでした。また、神戸マラソンを走れる喜びにもまだ気付かずでした。そんな考えが変わったのがレース中でした。30キロを越えた辺りから足がつり沢山の声援とサポートを受けて何とか神戸大橋を渡った時の感動は忘れません。(涙少々)そして無事ゴールできた後には、全ての人に感謝と心も変わっていました。そして、もう一度しっかり神戸の町を走りきりたいとの思いが湧いて走ることを止めませんでした。3年ぶりの当選で走れる喜びも持ち、ありがとうを言いながら走りたくと思います。</p>
匿名	愛媛県	<p>ラストの橋で応援してくださいる学生さん。 ありがとうございます。 さらに、汗だくのきたないおっちゃんとかハイタッチまでしてくれて。 あそこは誰の応援もなければ走れません！ 今年も歩いたりしません！</p>
小野寺 由美子	宮城県	<p>2011年3月11日、千年に一度といわれる東日本大震災に遭い自宅、店舗を失いました。生きていく喜びで溢れ溢れていましたが、長引く避難所生活、みなし仮設での生活、仮設店舗での家業の再開と生活が激変し疲弊していた頃、神戸岡本商店街の皆さんが長い道のりをちいさなマイクロバスに乗って気仙沼まで会いに来てくれました。 遠路お疲れにも関わらず、皆さん笑顔で、本当に元気をもらいました。 同じ被災を経験した者同士、力になりたいと『気仙沼まただいん』というアンテナショップがOPENしたのです。 先が見えない中、本当に心強かったです。 神戸の皆さんはいつも笑顔で元気ですが、『被災し20年経っても心の傷は癒えないけどどうせなら明るく笑顔で過ごしたい！長期戦になるからがんばったらあかん！何でも相談してや！』と励ましてもらいました。いつか神戸マラソンで皆さんにありがとうを伝えたい！すると伴走するで！と背中を押してもらい申し込むとなんと！当選！今年のテーマは『感謝と友情』。 フルマラソンは初めてですが神戸の皆さんにありがとうの気持ちを伝えるため精一杯走ります！</p>
間宮 敦	兵庫県	<p>こんにちは。 2014年以來、5年ぶりの神戸マラソン！ やっとの思いで当選しました！ 前回の2014年の大会の時は、当選者の中から選出された11名のメモリアルランナーに選んで頂き、阪神淡路大震災のエピソードを感謝の気持ちを含めて発信させて頂きました。 あの11名は本当に素晴らしい団結力があり、それぞれの熱い思いは今でも忘れられません！ あの時は震災から20年。 そして今年には震災から25年の節目になろうとしている年にまた走ることが出来てとても光栄です！ 令和元年の記念すべき年でもあります、今回も感謝とありがとうの気持ちを胸に走り切りたくと思います！ 宜しくお願い致します！</p>
植田 真治	大阪府	<p>私にはかずみという同級生がいます。かずみに難病が発症したのは41歳の頃でした。SBMA(球脊髄筋萎縮症)という遺伝性の難病で治療法も確立されておらず、3年前からはほぼ車いすの生活です。僕たち同級生仲間はずみも少しでも励ましてSBMAという病気を認知してもらい治療法が確立することを願って「かずみ会」を作り、そこのTシャツを着てバイクレースやマラソンに参加しています、今回3人のメンバーが神戸マラソンにエントリー出来たので頑張って完走を目指し、かずみの生きる力を応援したいです。</p>
たくちゃん	神奈川県	<p>今から8年前の2011年11月第1回神戸マラソン、私はエントリーを済ませておりましたが、自身の脚の故障で医者から出場することを止められ、第1回神戸マラソン出場を泣く泣く断念しました。 その後月日が流れ2015年夏に今お付き合いさせていただいている彼女と出会い、以来お互いのことを次第に理解しつつ今現在もお付き合いさせていただいておりますが、彼女も8年前の第1回神戸マラソンにエントリーし走られたものの、途中で脚が響るアクシデントに見舞われ、健闘虚しく最終関門で収容車に拾われてしまったという悔しい過去があったことを知りました。 今年春先に神戸マラソンの詳細が発表された時に彼女から8年前の忘れ物を取りに行きたいという話があり、私も8年前の忘れ物を取りに行きたいと気持ちが次第に高まりエントリーさせていただきました。 この度、神戸マラソンを、走らせていただけに感謝しております。私を神戸に誘ってくれた彼女にも感謝しております。 私は勿論、彼女が8年前のリベンジを果たせるよう、事前の走り込みからサポートして、11月17日には2人で完走果たして、神戸の地で喜びを分かち合いたいと思います。</p>